

アカウキクサ	<i>Azolla imbricata</i> (Roxb. ex Griff.) Nakai	情報不足
(環境省:絶滅危惧ⅠB類)		アカウキクサ科
選定理由	過去には生育していたが、現在は見るできない。しかし、絶滅と言えるほどの確証は得られていない。	写真(村瀬正成)
形態の特徴	浮遊性のシダ植物。植物の全形は三角形になる。葉の表面には粒状の突起がある。根には根毛がある。	
生態的特徴	比較的水のきれいな湿地、ため池、水田に浮遊する。	
分布状況	本州(関東以西)から沖縄に分布する。岐阜県では県南西部に生育したという記録があり現在は見るできないが、絶滅と言えるほどの確証はない。	
減少要因	水田の乾田化、水田農薬の使用、水質汚濁が考えられる。	 <p>※生息地不明</p>
保全対策	湿潤な水辺の環境を保持する。	
特記事項	過去には、低地の水田でどこにでも見られた水田雑草であるが、現在は確認できていない。しかし、水田跡地や放棄水田の攪拌により出現する可能性がわずかにある。	
参考文献		

文責:村瀬正成